



尚操



〈発行所〉

鳥取県立倉吉西高等学校
尚操会
〒682-0925
鳥取県倉吉市秋喜20
倉吉西高等学校内
0858(28)-1811
山本印刷(株)
0858(47)-0088

会長挨拶



尚操会会長
藤井 幸博
(西高第24回卒業生)

母校に追いつく、 新しい景色へ

会員の皆様いかがお過ごしですか。日頃から尚操会の活動にご協力をいただき、深く感謝を申し上げます。

この5月、国は新型コロナウイルスの位置付けを、季節性インフルエンザなどと同じ5類に引き下げました。6月に入り、感染者数が微増傾向にあるとも報じられていますが、感染対策は続けなければなりません。昨年度まで制限されていた学校の諸活動が再開されたのは喜ばしいことです。生徒たちには一日も早くコロナ禍前の学校生活を取り戻してほしいと願っています。

さて、母校は今年度101名の新入生を迎えました。少子化の影響もあると思いますが、定員数120名に対して、初めて定員割れという、残念な事態になりました。尚操会としても、これまで以上に母校の魅力を発信しなければなりません。

そんななか、母校に追い風となる嬉しいニュースが次々と入ってきました。

まず、この4月に、西高32回生の卒業生でもある、田中博幸先生が校長先生として着任されました。西高21回生の竹ノ内誠一先生以来、16年ぶり、ふたり目となる、卒業生の校長先生の誕生です。卒業生として母校にたくさんの思い出と愛着をお持ちの先生が校長先生になられたことは、同窓生として歓喜に堪えません。次に、5月27日〜29日に開催されまし

た、第58回鳥取県高校総体における弓道部の活躍です。弓道部は福光善太さん(西高40回生)指導の下、男子団体が3年連続26度目、女子団体は2年ぶり20度目の優勝に輝きました。女子個人の部では西村有花さんが優勝、男子個人の部では石川快洋さんが第2位、室山翔音さんが第3位と優秀な成績を収めてくれました。

コロナ禍で練習もままならないなか、よくぞ頑張ってくれたと思います。

さて、令和6年6月16日は母校の創立110周年記念日にあたり、母校は来年、創立110周年という節目の年を迎えます。大正3年6月16日に倉吉町立実科高等女学校として設立されて以来、大正、昭和、平成、令和といくつもの時代を経て、110年間もの間、地域を支える人材を輩出し続けてきたことに感慨を覚えます。

現在、尚操会では創立110周年記念事業の準備を進めているところです。同窓生でもある田中校長とともにこの事業に取り組めるのは、なんと素晴らしいことでしょうか。在校生、在籍の教職員のみならず、お役に立つような事業内容を目指して検討しておりますが、その詳細は決定次第、皆様に報告させていただきますので、もうしばらくお待ちください。

この8月に尚操会総会及び総会後の懇親会を4年ぶりに開催する予定です。ひとりでも多くの会員の皆様とお会いできることを楽しみにしておりますので、ぜひご参加のほどよろしく願っています。

最後になりますが、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りするとともに、未来に輝く後輩のために、惜しみないご支援とご協力をいただきまして、西高の新しい景色が見られますことを期待してご挨拶いたします。

花・水・木

20年前、新しく採用され教員として働くことが決まりました。とてもフレッシュな気持ちで、何でもやってやるぞとエンジン全開だったように思います。そして、この学校に赴任した当時、これだけはやりたいと思っていたのが、担任で3年間持ち上がる、そして卒業式と一緒に迎えることでした。

担任については、学校という環境の中で何が一番役に立つのかと考えたときに、自分がいろいろ悩んだり寄り道をしながら、教員という職に就いた経緯の中に、何か生徒たちのヒントになることがあるのではないかと考えたからです。悩んで、ふらふらと寄り道をした中で、学んだことの一つに、自分が経験したことの中に、無駄というものはないということがありました。だから、いろいろと悩んだり、立ち止まったり、これでもいいかと自信を失ったりしている時間も無駄じゃないんだと、真正面から伝えたい、そんな思いを強く持っていました。だから、自分は教員になりたくてこの職に就いたのでではなく、担任になりたくて教員になったんだと自負していました。

幸いにも、私はすぐに担任を任せていただくことができ、進路指導など担任としては未熟だったにもかかわらず、3年間持ち上がるのができ、生徒たちと一緒に成長し、卒業式と一緒に迎えることができました。3年間持ち上がって、卒業式を迎えたその時に感じたことは、この3年間で自分がクラスの子供たちに伝えたことと、生徒たちから伝えられたこと、学ばされたこととどちらがたくさんあったのかということでした。比べるべくもなく、生徒たちから学んだことが多かったことがはるかにたくさんありました。ここが自分のターニングポイントだったと今でも思います。「教えること、伝えること」が教師の仕事ではなく、一緒に学び、一緒に感じ、様々な経験を共有して、ともに成長していくこと。これが教師の役割ではないかと思いました。だから、私は生徒の前で、自分のことを「先生は…」という表現を極力避けました。「私は…」「あなたは…」というコミュニケーションの中で、できるだけ多くのことを共感し、共有すること。それが一番大切なことだと今も考えます。

今年、久しぶりに自分の原点に戻ってきたようではあります。が、教頭という新たなスタートを迎えるというのにも、何か縁のようなものを感じます。自分自身も次のステップに進むんだという思いを胸に、日々緊張感をもって業務に当たらせていただいています。これからは「自分」に何ができているのかではなく、学校全体で生徒のために何ができているのかという視点を持ち、尚操会の皆様のご助言、お力添えを賜りながら、生徒の様々な活動の中で、多くの共感と共有を生み出していきたく考えています。どうかよろしく願っています。

教頭 牧野 圭介



西高生、活躍しています

校長 田中 博幸

109年目を迎える伝統校に、また母校に校長として着任し、懐かしさとともに、思いを新たにしたいところです。

昭和60年3月に卒業後、平成17〜22年度に教諭として勤務してから11年ぶりに戻ってきました。現在の西高は、校訓の「立志」に基づき「地域を支える、貢献に資する人財の育成」という教育ビジョンを描き教育活動を行っています。また、10年後を見据えた夢きりチャレンジ

グループ活動は継続していたり、生徒憲章はなくなっていたり、西高祭では花火が打ち上げられるようになったり、有為転変となつていきます。

生徒たちは、令和4年度進路実績では国公立大学32人、私立大学35人、国公私立短期大学6人、専門・各種学校23人、就職6人、予備校等13人。部活動では弓道部が6月開催の中国選手権大会で男女団体アベック優勝。8月に北海道で開催される全国

総体に男女団体と個人3名が出場します。自転車競技部も男女9名の選手が全国総体に出場するなど、あらゆる方面で活躍しています。教職員は、生徒一人ひとりに寄り添った教育、古い言葉では伴走教育を続けています。

さて、AIの発展やコロナ禍による世界の大きな変化に合わせ、本校も進化しなくてはならない局面です。一つの例として、チャレンジグループ活動で、アツググループし、倉吉市のご協力をいただきながら地域の課題を地域の方々とともに考えていきます。一人一台端末等のICTを活用して、世界中の統計

やデータに基づいた高校生なりの答えを仲間とともに作り出していきます。様々な学校内外での学びを通して、「人材」を育成して参ります。

「人材」という字を「人材」という当て字を使っていますが、もともと「材」には、「役に立つ才能・素質」という意味があり、「人材」を、地域や組織の材料だとか、単に仕事ができるとこなせる人だと勘違いしないよう、地域や組織の人と人との関係の中で、お互いのいいところを活かして地域や組織の力を高める能力を持った人であり、地域や組織にとっては、宝のような大切な人であるという思いを文字

に込めて「人材」としています。決して、地域に住んでいるだけのような「人在」とか、地域に害をあたえるような「人罪」にはなりません。

尚操会の皆様、何かの機会がありましたら、母校を訪れ、頑張つて学んでいる、活躍している生徒たちを激励してやってください。そして、ますます地域、全国、世界で活躍する尚操会員が増えていくよう、どうか西高生を温かく見守り、ご支援いただきますようお願いいたします。



部活動に明け暮れた日々から47年

西高24回卒業生(昭和52年) 猪山 靖

私が倉吉西高校に入学したのは男女共学になって4年目：まだまだ男子は少なく教室も木造校舎の一角にあった。女子高のイメージが強く、入学してからはしばらくは高校生活に積極的ではなかったように思う。何かしなくてはと選んだ部活動はバドミントン部。今でこそメジャーなスポーツとしてのバドミントンだが、その当時はマイナーなスポーツで、羽根つきのイメージしか持っていなかった。決してバドミントンがやりたかったわけでもなく、中学校からの友人のお父さんが顧問をしている

という理由だけで入部をしたのだった。ラケットも木製のラケットからスターストにして、そのうちスチール製、そしてカーボン製へと変わっていった。ラケットが変わるたびにバドミントンへの意識も、羽根つきからハードなスポーツへと変わり、のめり込んでいった。練習場所は体育館ではなく木造の立派な講堂。講堂なので天井が低く、バドミントン特有のハイクリアーを打つと天井に当たってしまうため、もっぱらドリブンクリアーという弾道の低い球を打ちあっていた。お陰で攻撃的なプレー

が身についたように思う。コートも女子と交互に使うので、週の半分はトレーニング中心のメニュー。講堂の裏手には水道山があり、石段がドーンとそびえていて、駆け上ったり手押し車で登ったりしていた。練習がきつく見るのも嫌な時もあったが、最後まで粘り切る体力をつけることができたのは、この石段のおかげだと思っている。1年生の秋に余戸谷町の旧校舎から秋喜の新校舎に移転し、講堂から大きな体育館に練習場所が変わっても、水道山には度々トレーニングに出かけていた。全国大会への出場を目指し、朝練から放課後の練習と取り組む日々の連続だった。その夢は叶うことはなかったが、実に充実した日々を過ごすことができたし、多く

のことを学ぶことができた。高校を卒業して47年になるが、今でも何かあれば集ってくれるのは、共に競い高めあった仲間たちである。男子生徒が少なかつたことで、バドミントン以外でも駅伝の選手に召集されたり、男子チームとして女子バスケット部の練習相手になったりすることもしばしばあり、楽しい思い出になっている。バドミントンは大学進学後も続け、昭和60年の「わかとり国体」では少年女子の監督をさせていたことができた。国体では勝利を飾ることができず、涙を流したことが今でも鮮やかに蘇ってくる。あれから38年、青春の多くの時間を費やしてきたバドミントンだが、今ではほとんどラケットを握ることがなく、代わりにア

ウトドアスポーツにはまっついている。50代になったのをきっかけにトライアスロンに挑戦し、今年7月の全日本トライアスロン皆生大会を完走すれば11回目の完走になる。8年前からはトレイルランニングにも挑戦し始め、今年4月には念願だったウルトラトレイルマウントフジに出場し、距離164.7km、累積標高6,451mを42時間48分で完走することができた。

閉め切った体育館でシャトルを追いかけ回っていた若造は、野山を駆けずり回っている老人になっていった。苦しいことの方が多く、辛いこともあるけれど、ゴールした時の達成感や支えてくれた人との結びつきは格別のものがあり、生きている実感を感じ、全身で味わうことができています。

教育実習生として

高校時代から今、そして将来に向かって

西高第67回卒業生(令和2年) 門脇 誠

こんにちは、同窓生の門脇誠です。私は現在、山口大学理学部化学科で化学の勉強をしながら、高校の先生になるための勉強もしています。この度、西高での教育実習を終え、自分のことをお伝えする機会を頂いたので、お話ししようと思います。

まず、私が教師になろうと思っただきつけは、小学校の頃から理科が好きで、中学校の時の理科の先生にあこがれたことです。その頃は中学校の先生になろうと思っていましたが、西高に入り、有機化学に魅了されて高校化学の教師を志しました。

次に高校時代の自分自身の経験をお話します。私は3年間バイオニアホームで過ごし、西高祭実行委員や生徒会、部活の副部長などをしていました。そんな西高生活で特に記憶に残っているのは定期考査です。おそらく、これを読まれている方は私を変った人だと思われと思います。教育実習中に、生徒に「定期考査は好きですか?」と聞いたときは誰一人として手を挙げる人はおらず、全員が嫌いと答えていたので、やはりテストが

好きだという人はそういないと思います。しかし、私は限られた範囲の中で課題の中から出される定期考査は学習がしやすく、点が取りやすいため好きでした。その甲斐あってか、3年間のほとんどの定期考査で1位を取ることができました。この経験は今までも活かされており、「目の前のことから着実にこなしていくこと」や「傾向を知り、対策を講じる」、「モチベーションの維持」などが役に立っています。

次に大学でのことを話します。私が大学に入学した2020年は新型コロナウイルスが始まった年でした。そのため、大学1年生の前期はほとんど大学に行かず、リモート授業を受けていました。理学部はほかの学部比べ、実験科目があつたため、学校に行く回数

は多かつたのですが、それでも友達ができずに苦労した思い出があります。大学2年の頃からはほとんどが対面になったので、少しは大学生らしい日常を送ることができました。大学に4年間通つて思ったことは、時間管理が大切だということです。高校のように毎

日同じ時間に通うということはなく、自分の取っている科目のある時間に教室に行き、授業を受け、終わったら帰るという日々を送ります。もちろん授業だけでなく、サークルやアルバイトも自分の時間に合わせて活動することになります。理系なので、課題やレポートが多く、時間ギリギリに提出ということも少なくありませんでした。山口大学の工学部では提出時間ギリギリになると提出者が集中し、大学のネットサーバーがダウンすることがあつたため、早め早めの行動が必要となつてきます。

最後にこれからの話をします。今は大学院への進学を考えているため、研究室での研究をしながら大学院入試の勉強をしています。教員採用試験は修士1年の時に受験を予定しています。将来は高校化学の教員として化学、あるいは科学の魅力を生徒に伝えられるようになりたいと思っています。そのためにも化学の勉強をしつつ、毎日の研究に励み、学会発表や論文が出来るように頑張りたいと思います。



コロナ禍を越えて

事務局

今年5月8日、新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同じ5類に移行しました。日本では令和2年から猛威を振るっていましたが、人の移動などようやくコロナ禍以前の生活を取り戻しつつあります。もちろん完全な収束ではなく、今年4月から感染が微増しておりまだまだ感染対策を行う必要があります。

尚操会の活動も影響を受けました。なにより昨年(令和4年)まで尚操会総会が3年間、令和元年に開催されて以来、開催できませんでした。いよいよ今年は開催できそうです。とくに昨年は、予定

の日の直前まで開催を模索していましたが、感染の第7波の拡大でとうとう開催できず楽しみにしておられた会員の皆さんに残念な思いをさせてしまいました。申し訳ございません。来年(令和6年)110周年を迎える倉吉西高校ですが、その長い歴史を持つ尚操会活動は、会員どうしが顔を合わせ、会話を交わすことで成り立っているため、密を避け、対面の機会が奪われ続けたコロナ禍の3年間は、どうしてもその活動が停滞

してしまつたことは否めません。そんな中であつて屋外での開催ということ、そのコロナ禍にあつても感染対策を充分に行い、毎年、「尚操会グラウンドゴルフを楽しむ会」は実施をつづけてきました。昨年11月の第4回も燕趙園前広場を会場に、20人以上の幅広い世代の参加で大いに盛り上がりました。令和5年も11月18日(土)実施を予定しています。ぜひご参加ください。

コロナ禍にあつても、藤井尚操会長をはじめとする役員や、支部長をはじめとする各支部の皆さんや、西高の先生方、なにより尚操会会員お一人一人の御尽力で尚操会は支えられました。心より感謝申し上げます。これからも尚操会にご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

事務局より

尚操会総会に沢山の同窓生に集まってもらう取組の一つとして、卒業後10年、30年の同窓生の方々に幹事学年をお願いしています。今年度の尚操会総会は卒業後10年、30年ということで平成6年、平成26年卒の学年に幹事学年としてお世話になります。(来年度は平成7年、平成27年卒の学年の方にお世話になります。)

総会以外でも同窓会、クラス会を開催されるにあたり、

参加人数が10人以上であれば補助金を支給しています。新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか開催できない期間がありました。今年5月に5類に移行したことにより、尚操会事務局に問い合わせをいただいております。また、クラス会の様子を会報に掲載したく思いますので、写真や原稿を送っていただければ幸いです。詳しくは尚操会ホームページの「同窓会・クラス会について」をご覧ください。

講師紹介 菅笠 達人(すがの・たつひと)さん

(1978年倉吉西高25回卒業)



■プロフィール
 高校入学後、吹奏楽部(音楽部)を創部し3年間部長を務める。
 大学では管弦楽部に所属し、作曲家近衛秀健氏の指導を受ける。
 卒業後は鳥取県警察官となり、その後警察音楽隊に入隊。
 奏者を経て楽長に就任し約30年間勤務する。
 2020年3月退職

尚操会 ホームページ紹介

【公式】尚操会 | 鳥取県立倉吉西高等学校同窓会
<http://shosokai.info/index.html>
 「倉吉西高同窓会」で **検索** 🔍



令和5年度 尚操会総会のご案内

日時 令和5年8月19日(土)
 午後3時～
 場所 倉吉シティホテル 2F
 総会 午後3時～
 講演会 午後4時～
 記念撮影・懇親会 午後5時～
 (懇親会はコロナ感染状況により、中止になることもあります)
 会費 3,000円

第5回尚操会グラウンドゴルフを楽しむ会

昨年11月に第4回グラウンドゴルフを楽しむ会を開催しましたが、今年も11月18日(土)に計画しています。
 毎年多くのご参加をいただいています。
 今年も楽しい会にしたいと考えています。
 詳細は尚操会ホームページ等でご案内しますので是非ご参加ください。



尚操会名簿を
発売しております

令和2年10月に、8年ぶりの『尚操会名簿』を発売しました。会員の皆様には大変お世話になりました。
 購入を希望される方は尚操会事務局(倉吉西高)までご連絡ください。

● 1冊 3,600円
 (振り込み手数料・送料が別途必要)

創立百周年記念誌 発売中です



創立百周年記念誌の購入を希望される方は、尚操会事務局(倉吉西高)までご連絡ください。

● 1冊 5,000円
 (振り込み手数料・送料が別途必要)